

実践報告 札幌市立真駒内公園小学校

(1) 研究内容

研究課題：「人権教育を基盤とした学校づくりに関する研究

「自分」を大切に、「ひと」を思いやることのできる子どもの育成

～自尊感情を高めることを軸とした人権の授業づくり～

- 命の尊さを理解し、自分の命も、他者の命も大切にすることができる心情を育てる。
- 自分や相手を尊重する実践的態度を育てる。

(2) 実践の内容

【実践①】3年「赤ちゃん誕生」について

○ ねらい

自分は、周囲の人に支えられ、守られながら、成長しているということに気付く。

○ 学習内容

- ・ 保健師の話から、胎児の成長の様子について知る。
- ・ 自分の生後1～2年の様子について、保護者からの話を聞く。
- ・ 赤ちゃん誕生に関わる周りの人の思いについて考える。
- ・ 子育てサロンに来ている赤ちゃん、お母さんと交流する。
- ・ おうちの方からの手紙を読む。



【実践②】6年「はばだけ未来へ」について

○ ねらい

自分の将来の夢について、多くの方から話を聞いたり、自分の考えを話したりして、将来への希望をもつことや努力の大切さに気付き、自分を見つめ直すきっかけとする。

○ 学習内容

- ・ 自分のあこがれの職業について考え、調べる。
- ・ 多くの種類の職業の方から、お話を聞いたり、相談したりする。
- ・ 改めて、自分の夢を見直し、考える。
- ・ 保護者に自分の夢を語る。



(3) 研究のまとめ

① 成果

- ・ 本校では、平成 24 年度から 3 か年計画で「人権学習」を核として研究を進め、平成 26 年度に実践発表会を開催し、「人権学習」を中心にした研究を終えている。しかし、この 3 年間で得た成果が、教育課程にしっかり根付いており、自他を大切にしたいという思いやりの心を重んじる学級の雰囲気、学級経営や日頃の子どもの様子などから感じられ、27 年度の教育活動にも生かされている。
- ・ 今年の 3 年生の実践では、自分は多くの人に喜ばれて誕生したことを、子どもたちは知ることができた。自分の命は自分だけのものではなく、周りの人たちに助けられながら生きてきたことに気づき、命の尊さを改めて感じることができた。
- ・ 6 年生の実践では、子どもたちが将来の夢についてゲストティーチャーに相談したり、保護者に伝えたりする姿が見られた。このような場を設定することで、多くの人と触れ合い、「自分」について考える良い機会となった。さらに、実践後の感想では「自分」だけではなく「相手」への感謝の気持ちを伝える内容もあり、自分の成長を感じさせることができた。このことから、自分だけではなく、相手も大切にしたい意識を醸成することができた。

② 課題

- ・ 昨年までの財産をもとに学習を進めているが、今後は職員や担当者も変わっていくので、誰もがわかるようなカリキュラムの工夫が必要である。また、活動内容についても精査していくことが大切である。
- ・ 今年度は、多くのゲストティーチャーに来ていただき、たくさんお話を聞いたり、相談したりして大きな成果をあげることができた。今後のためにゲストティーチャーや担当者の連絡先などをしっかり引き継いでいくことが、次年度へのスムーズな活動につながる。

③ 提言「人権教育のすすめ」

- ・ 結果をすぐに求めず、長期的に継続していくことが大切である。そのためには、学校全体で取組を推進し、地域、保護者の方にも授業参観などを通じて学校の取組を発信して、理解、協力を得ることが望ましい。